

2009年5月15日

安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097
 ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/apcenter/awa/>
 発行:安房農林振興センター地域振興部改良普及課・安房農業改良普及事業協議会



地域農業の活性化に効果！
 ー富楽里農産物の直売活動ー

道の駅「富楽里とみやま」と店内の、農産物直売所で販売されている切花と野菜

南房総市富山地域では、道の駅「富楽里とみやま」内の「豊作市場」において、富山地域で生産された農産物や加工品の販売が富楽里農産物と出荷会員により行われています。地域の特性や農家の積極性を活かした取り組みが、地域農業の活性化に効果を発揮しています。

「富楽里とみやま」は、平成15年4月に誕生し、館山道のパーキングエリアに位置しています。一般道からも利用でき、農産物直売のほか、海産物の直売、レストラン、軽食、地域の特産品販売など、観光客や地元の市民が買い物や憩いの場として広く利用できる構造になっています。

南房総市富山地域は、花きやびわを中心とし

た園芸作物の栽培が盛んな地域で、特にこれらの品目の充実性が特徴となっています。そのため、4月から6月のびわが出回る時期や、盆、彼岸年末は、びわや切り花を買い求めるお客様で特に賑わいを見せています。

直売所がお客様に受け入れられるのは、地元産としての安心感、値ごろ感のほか、品質と鮮度が良いことが挙げられます。更に、「とれたて」の新鮮さと、お客様に買ってもらえる「商品としての農産物や加工品」を作り上げる技術を持つことが、直売所の有利性につながります。

富楽里農産物では、来客者の満足度を高めるため部門別のセミナーを行うなど出荷者を対象とした研修を行っています。農林振興センターでは、地域農業の活性化や担い手育成の観点から、積極的な支援を行なっています。

(三枝 広)

柔らかくて濃厚な甘さの ジャンボ落花生「おおまさり」

安房地域でも古くから食べ親しまれているゆで落花生向けに育成された極大粒品種「おおまさり」が平成21年度より一般栽培されます。ゆで豆の大きさは、ゆで豆用奨励品種の「郷の香」に比べ約2倍で、柔らかく甘みもあるため、直売所等での有利販売が期待されます。

しかし、栽培に関しては、伏性に近い草姿のうえ、大株なことから、「郷の香」の栽培に慣れた生産者にとっては、少々栽培が難しい品種です。そこで、昨年度安房地域を含め、県下全域で試験栽培を行い、栽培方法について検討しました。以下がマルチ栽培のポイントとなります。

①大株なので注意

播種時期や密度は、5月中・下旬に65×30cm（2粒播き）と従来の品種と同様に行

いますが、マルチを除去する際に株が傷みやすいので、穴の大きい資材を使い、開花後はすぐにマルチを除去します。

②収穫（ゆで豆用）は開花期後85日

開花期とは開花した株が圃場全体の半分となった日のことと、収穫適期は、「郷の香」に比べ約15日遅くなります。収穫前に、数株試し掘りをして、編み目の発達している莢が1株20個以上確認できたら収穫します。

栽培方法の詳細については資料等も用意しておりますのでお問い合わせ下さい。

（椎木千晴）



図.おおまさり(左)
郷の香(右)

畦畔の草刈作業を大幅に減らす シバ「センチピートグラス」 特徴と管理のポイント

安房地域は、山間部が多く、水田の大きな畦畔・法面の草刈に苦勞されていると思います。

そこで最近注目されているのが「センチピートグラス」という暖地性のシバです。このシバは草丈15cm程のマットを作って畦畔を1〜2年で覆い、他の雑草の侵入を防ぎます。マット完成後は年2回程の簡単な草刈で、10年以上維持できます。このシバは初期生育が他の雑草に比べて遅いため、プラグ苗を定植します。また、光と温度を好むので、以下が管理のポイントとなります。

①播種は5月上旬〜、定植は6月中旬〜

田植え後の育苗ハウスを利用します。セルトレイに播種し、40〜50日育苗して梅雨の時期に20〜30cm間隔で定植するの

がお勧めです。

②定植前に雑草を枯らす

雑草に負けないように、定植前にラウンドアップで畦畔の雑草を「完全に」枯らします。

③定植後、覆うまで管理を

徐々にランナーを出して地面を被覆しますが、雑草が伸びてくるので、高さ10cm弱で高刈りしてシバに光を当てます。

④資材経費は30〜40円/m²

種子は1キロ2万円弱と高価ですが、育苗し、定植すると実用的な価格となります。

安房地域では、館山の豊房地区、鴨川の下小原地区などで導入しています。本技術の詳細は、電話等でお問い合わせください。

（雲内浩平）



センチピートグラスで覆われた広い法面（鴨川市下小原）

パッションフルーツ栽培に挑戦!!

安房地域では南国を思わせる独特の香りや甘味を持つ、熱帯果樹の栽培が盛んになっています。温暖な当地域をPRするにはびったりの果物です。

特にパッションフルーツは、定植1年目から収穫でき、病虫害に強く、栽培しやすいのが特徴です。栽培のポイントを紹介します。

① 植付けは春

露地の場合は霜が降りなくなつてから定植します。株間は3〜5m、畝間は1.5mにします。身長の高さで逆L字仕立にし、わき芽を垂らします。



パッションフルーツの果実と花

② 良果のコツは受粉と芽かき

花が咲いたら、筆や指でおしべから花粉をとり、めしべにつけることで、落果を防ぎ、実のつまった良い果実を实らせます。また、こまめに芽かきをして果実の日当たりを確保しましょう。

③ 収穫期の見分けはカンタン

赤く色づき、果実が自然に落下したら収穫です。落下の衝撃で果実が傷まないよう、敷きわらをしたり、ネットを張ったりするとよいでしょう。

④ 翌年に向けて

毎年植え替えることをお勧めします。夏の間に挿し木をして苗を仕立て、冬の間ハウスで育苗しておきましょう。

現在、館山市豊房や南房総市三芳などで取り組まれています。栽培技術の詳細等は農林振興センターまでお問い合わせ下さい。

(高橋侑美佳)

パソコンで見られます わかる・役立つ牛群検定

従来の紙ベースの検定データは細か過ぎて検定結果を利用しづらいという課題がありました。こうした課題を解決したのが、インターネットを介して利用可能な牛群管理プログラムです。牛群検定を実施しており、インターネットを利用してできる環境で畜産協会に申し込めば、無料で大変見やすく加工されたデータを自宅のパソコンで見ることができるようになりました。

その中で利用しやすいものを紹介します。それは衛生乳質で重要となる体細胞数を毎月順に追って追跡できる「体細胞グラフィック」です。下の数字(リニアスコア)が高いほど、体細胞数が多いことを示しています。例えば、No.0212号牛は常にスコアが高いことがわかります。このような牛は淘汰の対象として検討

の余地があります。この他に乳質改善・繁殖管理等についても効果的に進めることができます。活用したい方はお気軽に農林振興センターにお問い合わせください。

(荒井真澄)

体細胞グラフィック

検定日 08/01/15 ~ 08/09/18 設定リニアスコア 4

数値(リニアスコア)が大きいほど体細胞数が多いことを示します。7ですと牛乳1L中に80万以上になります。

個体数リニアスコアの推移

牛コード	年月	2008/1	2008/2	2008/3	2008/4	2008/5	2008/6	2008/7	2008/8	2008/9
0212		1	1	1	1	1	7	6	7	5
0278		3	3	3	5	3			4	4
0245		2	2	2	2	2	4	5		
0223		2	2	2	2	3	3	2	3	4
0207		3	3	3	5	3			4	4
0257		5	3	3	4	5	4	4	7	8
0241		2	3	3	4	3	5	3	3	4

(最新検定日でリニア・スコア4以上の牛を表示)

※紙面の都合上牛群管理プログラムで見られる内容とは多少変更しています。実際は12ヶ月分のリニアスコアが見られます。

新規受講生募集中

「農業経営体育成セミナー」と「スキルアップ研修」に参加しませんか？

◎農業経営体育成セミナー

(以下セミナー)とは？

就農後間もない農業者を対象とした3年制の勉強会です。月に1回ほど集まり、地域内外の優良事例の視察や講義などを通して、農業に関する知識の習得や技術の向上を図り、将来の経営ビジョンの設定を目指します。県内で活躍されている多くの農業者が受講されています。

担当普及員がマンツーマンで支援します。セミナーを通じて知り合った農業仲間や普及員が、かけがえのない宝物になることを約束します。

◎スキルアップ研修とは？

主にセミナー修了後の方を対象にした、より専門的、実践的な勉強会です。昨年度は農業の安全使用や、農業経営のチェックポイントなどをテ

ーマに3回の研修会を開催しました。

◎対象者

安房地域在住の方。セミナーはおおむね35歳までの農業者。スキルアップ研修はセミナー修了後の若手農業者です。いずれも経営品目は問わず、現在受講者を募集しています。セミナーは5月下旬、スキルアップ研修は6月頃の開講予定です。お問い合わせ、申し込みは、当センター改良普及課までどうぞ。

(椎木千晴・入倉敏広)



昨年度のスキルアップ研修の様子

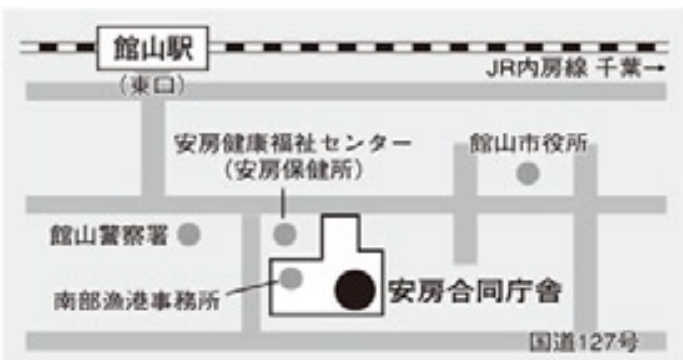
安房農林振興センター
地域振興部改良普及課の
職員を紹介します。

- | | |
|----------|----------|
| 改良普及課長 | 梅原 彰 |
| 主席普及指導員 | 糸 喜幸 |
| 館山地域グループ | |
| 伊藤 良枝 | グループリーダー |
| 荒井 真澄 | (担当 畜産) |
| 浅野清一郎 | (担当 作物) |
| 今関 達治 | (担当 林業) |
| 齊藤 陽子 | (担当 野菜) |
| 高橋侑美佳 | (担当 果樹) |
| 福永 佳史 | (担当 花き) |
| 山本 大樹 | (担当 野菜) |
| 鴨川地域グループ | |
| 田上 和俊 | グループリーダー |
| 川名 瑞枝 | (担当 生活) |
| 高橋 京子 | (担当 果樹) |
| 宮本 直子 | (担当 花き) |
| 雲内 浩平 | (担当 作物) |
| 金森 啓介 | (担当 野菜) |
| 大河原澄香 | (担当 畜産) |



南房総地域グループ

- | | |
|-------|----------|
| 三枝 広 | グループリーダー |
| 山田 博 | (担当 畜産) |
| 渡辺 照和 | (担当 花き) |
| 椎木 千晴 | (担当 作物) |
| 影山 浩司 | (担当 果樹) |
| 鐘ヶ江良彦 | (担当 野菜) |
| 入倉 敏広 | (担当 野菜) |
| 西廣 明香 | (担当 花き) |
| 安田 直登 | (担当 野菜) |
| 竹内真紗子 | (担当 花き) |
- よろしく申し上げます。



安房合同庁舎の案内図 (改良普及課は3Fです。)